

【国語科の目標は...】

「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる」ことです。

【5年生では、こんな力を育てます】

★ 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

★ 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。

★ 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

口田小学校では特に

- ① 読むこと、書くことの基礎基本を大切に押さえていきます。
- ② 自分の思いを表現できる力を育てていきます。
- ③ 読書活動を通して豊かな想像力や心を育てていきます。
- ④ 「筋道を立てて物事を考え、理由を明らかにして表現する児童」の育成を目指し、考える視点を明確にした授業づくりを通して、論理的思考力を高めていきます。
- ⑤ 「聞くこと」はすべての基礎となりますので徹底して指導していきます。
- ⑥ 短作文指導を継続して行い、書くことへの抵抗感を取り除くとともに、必要事項を正確に記述する指導を行います。
- ⑦ 漢字や語句の成り立ちなどに興味・関心をもたせるとともに、漢字の反復練習を積み重ね、漢字を正確に読み書きができるようにしていきます。
- ⑧ 教室の言語環境や読書環境を整備したり、国語辞典を常備したりして、幅広い文章表現や語彙の拡充を図ります。

【評価について】

- ★ テストだけでなく、次のようなことも含めて総合的に評価をしていきます。
- ・ 学習への意欲や関心
 - ・ 授業中の態度や発言
 - ・ ノートの記録や整理の仕方
 - ・ 課題への取り組み状況
 - ・ 作文
 - ・ 漢字テストやミニテストの結果
- ★ 習ってすぐの学力より学期末・学年末においても定着している学力を重視して評価します。

【おうちの方へのお願い】

- ★ 特に国語科の「読むこと」「書くこと」においては、繰り返し学習することが大切です。「読むこと」は読むことで、「書くこと」は書くことで力が付くと考えていますので、時には、音読を聞いてあげたり作文をみてあげたり、漢字の間違いはないかとチェックしたりして、伸びた点をしっかりほめてあげてください。

月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
4	1 自分の思いが伝わるように声に出して読もう ○ だいじょうぶだいじょうぶ ○ 本に親しもう ○ メモを使って題材をさがそう ○ 文の組み立てに気をつけよう	○ 物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、声に出して読む。 ○ 連想によって言葉を広げ、書く題材をさがす。 ○ 言葉の係り受けに理解を深め、意味が正確に伝わる文を書くことの大切さを知る。
5	2 文章の構成を考えながら要旨を読み取ろう ○ 動物の体と気候 ○ ゲストティーチャーをすいせんしよう ○ 漢字の由来に関心を持つ	○ 文章の構成を考えながら、要旨を読み取る。 ○ 理由を明確にして、人物を推薦するための話をする。 ○ 漢字の由来について知り、漢字の四つの成り立ちを理解する。
6	3 物語の構成に気をつけて読もう ○ 世界でいちばんやかましい音 ○ 意見とその理由を聞き取ろう ○ 熟語の構成を知ろう	○ 「設定」「展開」「山場」「結末」の部分を確かめて、物語の構成をとらえる。 ○ ふさわしい理由を挙げて意見を述べているか、考えながら聞く。 ○ 二字熟語について、語の構成から意味を推測できることを知り、その方法を理解する。
7	4 書き手の意図を考えながら新聞を読もう ○ 新聞記事を読み比べよう ○ 立場を明確にして書こう ○ 古文を声に出して読んでみよう ○ 本は友達	○ 二つの新聞記事を読み比べて、書き手の意図を読み取る。 ○ 自分の意見がわかりやすく伝わるように、立場を明確にし、構成を考えて書く。 ○ 古文の冒頭を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。 ○ 多くの本や文章を読むことの楽しさを知り、読書の範囲を広げる。
9	5 詩と俳句を味わおう ○ 水のころ ○ 山のあなた ○ 俳句 ○ パネル討論をしよう	○ 情景や心情を思い浮かべながら、詩や俳句を声に出して読み味わう。 ○ 自分の立場を明確にして、相手の意図を考え

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を読んで考えたことを書こう 	<p>ながら話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を生かして、自分の考えたことが伝わるように書く。
10	<p>6 物語のおもしろさを考えて読み味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 注文の多い料理店 ○ ふしぎな世界へでかけよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 構成や表現の工夫に目を向けて、物語を読み味わう。 ○ 構成を考えて、場面の情景が伝わるように表現を工夫しながら筋道の通った物語を書く。
11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味をそえる言葉に目を向けよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 程度や限定、強調を表す言葉の働きや使い方を理解し、文のニュアンスをとらえる。
	<p>7 森林について興味を持ったことを調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 森林のおくりもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題名の工夫や述べ方に注意して読み、要旨を読み取る。
12	<p>8 ふさわしい方法を選んで発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 気持ちを伝える言葉について考えよう ○ 敬語を適切に使おう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容や目的に合わせて、効果的な発表方法を工夫する。 ○ 敬語の種類や役割を知り、適切な使い方を理解する。
	<p>9 動物と人間のかかわりをえがいた物語を読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大造じいさんとがん ○ 古文に親しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。 ○ 古文とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知る。
1	<p>10 活動したことを伝える文章を書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝えよう、委員会活動 ○ わたしの「とっておきの一枚」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的に合わせて書くことを選び、構成を考えて書く。 ○ 組み立てを工夫して話し、話し手の思いをとらえながら聞く。
	<p>11 メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テレビとの付き合い方 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取り、読み取ったことをもとに自分の考えを書く。
3	<p>12 人間の生き方をえがいた伝記を読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 手塚治虫 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝記を読み、人物の考えや生き方について考える。